

清里まちづくり No.49

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会



清里まちづくり協議会事務局
〒370-3573 前橋市青梨子町 339 清里公民館内
TEL251-9005 FAX255-0341

みんなで楽しむ清里ふるさと祭

赤城、榛名山の緑が一段と色濃くなつてまいりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、清里地区では2年に一度の夏のイベント「第6回清里ふるさと祭」を8月4日(土)午後3時から開催いたします。夏の暑い時期ですが、実行委員会(総務部会、イベント部会、芸能部会、会場部会)の皆さんを中心に過去の経験を生かし、より楽しい企画が出来るよう考えております。

今回も企業や個人事業主、そして地域住民の皆さんから沢山の協賛いただきました。ご協力ご支援賜り厚くお礼申し上げます。

当日は、夏休み中の子ども達にも十分楽しんでいただけるようなイベントや模擬店、抽選会、「きよさと花火」を打ち上げます。



祭

祭

また、夕方からは世代間の交流を図るため、皆さんと一緒に「盆踊り」を楽しみたいと思います。

盆踊りの事前練習は、7月14(土)、7月21日(土)の午後7時から清里公民館で行う予定です。是非、練習には子どもから大人まで大勢の皆さんに参加していただき、本番当日は楽しんでにぎやかにしていただきたいと思っております。

(自治会連合会長 高瀬照雄)



第5回清里ふるさと祭メモリアルフォトアルバム



子育てスパーボールすくい



浴衣姿の子ども達



だんべえ部会オンステージ

「オープンガーデンに寄せて」

この会に参加させて頂いてからはや3度目の春を迎えることが出来ました。今年は天候不順のため花達がいつもより早く咲き急いでしまつて当日迄もたないかと心配しましたが何とか持ち応えてくれたので一安心！

思い起こせばこの庭は結婚する時、父が持たせてくれた数本の木と数本の草花が私のガーデニングの出発点でした。夫はあまり関心がない為、殆ど私が自由にさせて貰っています。ですので我流の庭です。庭を造るにあたっていつも思う事は「自分らしさを大切に」をコンセプトに願わくは1年を通して五感を感じさせてくれるような、そして、いつも何らかの花が咲いている様な庭造りを心がけていますが、なかなか思うようにはいきません。以前は私の手慰みの一環でしかなかった庭がこんなにも沢山の人たちに見てもらいこの上ない喜びとなつて居ります。この様なことがなかったなら人とのふれあいも今程なかったかも知れませんが。人の出入りがあるということも日々の生活にも活気が出て、また明日も頑張ろうという気にもなります。以前は一人で楽しんでいただけの庭でしたが、オープンガーデンに参加したことにより全然面識の無かった人達と何気ないおしゃべりをして花と関係ない

ことも楽しく語りあう時、この人達と出会えてよかつた！とつくづく思います。以前から出逢いは大切と思つて居りましたからこの年になつてお友達が増え、私の知らないことや思いがけない発見、または色々なことを教えていただき、つくづくありがたいなあ！と思つております。この様な出逢いをもたらしてくれたオープンガーデンに感謝しきりの毎日です。

(花いっぱい運動部会 神保 芳子)



「清里地区オープンガーデン」 来年も楽しみにしています！

「花はなクラブ視察研修に参加して」
当日は、前日のうだる様な暑い日から一転、曇り日の暑くなく寒くなくちょうど良い気候。バスは順調に埼玉の皆野オープンガーデンに到着しました。バラの香りと目に優しい緑の木々、花の絶えない広い庭に心が癒されました。色々な工夫がしてある花々の色のハーモニー「楽しみながら庭作りしている。」と語る優しい笑顔のオーナーさんの話、満たされた生活を感じた一場面が印象的でした。午後になり小雨がパラパラ。日本最古のゆずの産地、毛呂山町へ移動。滝ノ入口ローズガーデンへ傘をさしての見学でしたが1500株あるというバラは見事でした。バラの名前はあまり詳しくありませんが、どのバラも見えてと言わんばかりに咲き誇っていました。その後、グリーンローズガーデンへ行きました。クレマチスの一種でしょうか、ベルの様な形をしたピンクがかつた青紫色の天使の首飾り、なんてステキな可愛いネーミングほっこりする瞬間でした。また、大きな梨の木にはわたせたバラは、とてもダイナミックでした。自然をうまく取り込んだ庭は訪れた人に安らぎを与えてくれました。きつと秋には紅葉がきれいな事でしょう。日ごろのせわしい日々を忘れられた心穏やかな一日でした。今回、6ヶ所を見学できて私なりに感じた事は、特別な事をするのではなく日々にはほんの少しでも生活にも心にも

花を取り入れる事が出来る事、それが心の潤いなのかと、また、小さな我が家の庭ですが参考に出来る事を取り入れていけたらなと思つています。皆さんお世話になりました。有難うございました。

(花いっぱい運動部会 入澤 寿美子)



山下邸ガーデン1



藤田邸ガーデン2

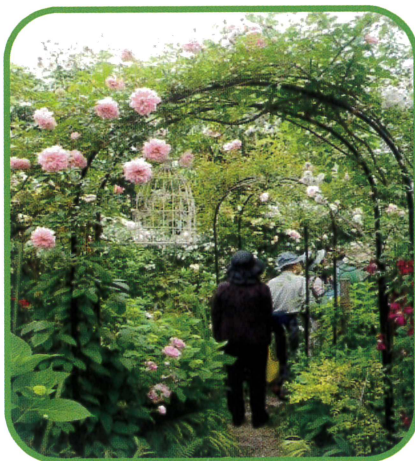


藤田邸ガーデン1

子ども八木節部会

「のびゆくこどもの集い」

毎年恒例の「のびゆくこどもの集い」楽しみにしてますが、いつも天候がややふやです。今年は、上級生が卒業して、下級生のみ出演となり心配でしたが、出番が近づいたら、笛・太鼓・鉦・音頭等々子ども達がお手伝いに入ってくれました。



林宅ガーデン



山下邸ガーデン2

食育部会

「きよさと焼き参加」

今年もきよさと焼きのプレゼントを行いました。今年も多くの子供たちに食べて頂き、喜んでいただけ良かったです。また、ボランティアの中学生には最後まで手伝っていただきありがとうございました。本当であれば、会



子ども八木節のびゆくこどもの集い参加

さて、八木節の始まりです。練習以上の出来でした。天候も八木節で吹き飛ばされ明るい空になり、集いに最適な天気となりました。皆一生懸命ガンバリ無事終了しました。ありがとうございました。

(子ども八木節部会長 小池 英子)



中学生ボランティアご苦労様でした！



きよさと焼きのびゆくこどもの集い参加

場に来て頂いた全員に食べて頂きたいのですが、時間的に子供たちの分しか出来なかったため、提供ができませんでした。次回は、夏祭りでの販売になります。ぜひ食べに来てください。

(食育部会 新井 博孝)

まちづくりだんべえ部会

大人と子供が一緒に練習して、楽しみ、地域のまちづくり活動に積極的に参加しています。

前橋祭りでの立川町通りでのだんべえ踊りは、毎年恒例となっている一大イベントの1つです。その他にも近隣の老人ホームでのボランティアや地域の納涼祭、文化祭など積極的に活動しています。

今年は2年に1度の清里地区のふるさと祭りの開催年です。清里を元気に盛り上げられたらと思います。

お祭り好きなあなた！私たちと一緒にお祭りに参加する側から作る側をしませんか？ご連絡お待ちしております。

【練習日】第1・3・5週木曜日 午後7時半〜清里公民館ホール
よろしく願います。
(だんべえ部会長 植木直子)



一緒に踊りませんか！

平成30年度 清里地区まちづくり協議会 名簿

本部役員(11名)

役職名	氏名	所属団体・役職
会長	高瀬 照雄	清里地区自治会連合会長
副会長	松島 武久	清里地区自治会連合副会長
〃	下境 義光	自治会長
〃	田村 孝夫	自治会長
〃	笹澤 春雄	自治会長
事務局長	松下 博寿	元・清里地区自治会連合会長
事務局次長	松下 均	前橋地域づくり連絡会委員
書記	蜂巣 英夫	清里地区生涯学習奨励員連絡協議会長
会計	田村 文男	清里地区民生児童委員協議会長
監事	福田 恭己	清里地区教育振興会長
〃	関 恒彦	清寿会連合会長

委員 (110名)

団体名	委員
()内の数字は人数	・自治会長(5)・教育振興会長(1)・民生委員(6)・主任児童委員(2)・子育て連正副会長(5)・子ども会支部長(5)・生涯学習奨励員(5)・体育協会長(1)・青少年育成推進員(5)・防犯委員地区分会長(1)・交通指導員(3)・少年補導員(5)・保健推進員本部役員(4)・更生保護女性部(6)・食生活改善推進員本部役員(2)・清寿会連合会(4)・消防分団長(1)・清里ボランティア会(2)・環境美化推進員(12)・各自治会組長(24)・農業委員(1)・JA前橋市理事(1)・保護司会(1)・清里小学校PTA正副会長(4)・第六中学校PTA本部役員(4)

専門部会

部会名	部会長	副部会長
花いっぱい運動部会	櫻井 恭子	馬場 隆雄、福田 恭己
社会福祉部会	松島 武久	田村 文男
食育部会	新井 孝	関口美佐江、板垣みどり
まちづくりだんべ部会	植木 直子	腰越 恵
事務広報部会	櫻井 勝	高橋 隆
子ども八木節部会	小池 英子	林 くみ
ふるさと祭部会	高瀬 照雄	井上 隆、坂部 明

前橋地域づくり連絡会 委員	新井 孝、松下 均、新井 博孝
---------------	-----------------

※前橋地域づくり連絡会とは各地区の地域づくり協議会相互の情報交換、連携協力の場として平成21年に発足。地域づくり交流フェスタの企画運営を行なう。

食育部会

「枝豆の種まき」

5月12日 土曜日 さわやかな風の中、枝豆の種まきを行いました。今年も多くの子育てでの参加をいただきました。松下事務局長の説明の後、一つづつ、ていねいに「いっぱい実をつけてね」と願い、1時間ほどで作業は終了しました。おかげさまで食育部会として1年間のきよさと焼の枝豆を確保することが出来、ご協力下さいました皆様に感謝を申し上げます。

生育状況を見て収穫日時をご連絡いたしますので、その時はよろしくお願い致します。お楽しみにお待ちください。
(食育部会長 新井 孝)



いっぱい実をつけてね！

編集後記

先日、富岡製糸場の見学に行ってきました。世界遺産登録されてから期間

も経っているので、そろそろ落ち着いたかと思いましたが、ゴールデンウィークということも有り大変混雑していました。フランス人技術者の協力によって完成したこと、そして、日本の近代化の礎になった事が良く分かりました。清里地区も以前は養蚕(ようさん)が大変盛んな地域でしたので、少し調べてみました。記憶によれば、30年前までは地区の全域がほぼ桑畑という状態でした。製糸場ができるまでは座繰器による製糸でしたが、富岡製糸をはじめ、亀山製糸、高崎製糸、前橋製糸などの機械製糸場が出来てから養蚕の形態が大きく変わった様です。機械製糸の先駆けは前橋製糸で富岡製糸設立の2年前の明治3年でした。各農家は農協を通して製糸場と契約し(契約栽培の様なもの)、乾繭(かんけん)として出荷する様になったとのこと。飼育方法の進歩については、紙面の都合で次の機会とします。(SA)



富岡製糸場東置繭所正面
(画像提供 富岡市)